

4 Apr.							5 May							6 Jun.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			①	2	3	4	5						1	2
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

本館工事休館 7月13日(金)まで
※6月30日(土)までロダン館は開館。7月1日(日)から7月13日(金)までは全館休館。

7 Jul.							8 Aug.							9 Sep.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	④	⑤	⑥	⑦				1	2	3	④							1
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	5	⑥	7	8	9	10	⑪	2	③	4	5	6	7	8
15	16	⑬	⑭	16	17	18	12	⑬	14	15	16	17	⑱	9	⑩	11	12	13	14	15
22	⑳	24	25	26	27	28	19	⑳	21	22	23	24	㉒	16	17	⑱	19	20	21	22
29	⑳	31					26	⑳	27	28	29	30	31	23	24	㉕	26	27	28	29
														30						

「新収蔵品展」 7月14日[土]—9月2日[日]
「日本画の情景—幕末から近代へ」 9月4日[火]—10月14日[日]

10 Oct.							11 Nov.							12 Dec.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6		4	⑤	6	7	8	9	10	2	③	4	5	6	7	8
7	8	⑨	10	11	12	13	11	⑫	13	14	15	16	17	9	⑩	11	12	13	14	15
14	⑮	16	17	18	19	20	18	⑱	20	21	22	23	24	16	⑰	18	19	20	21	22
21	⑳	23	24	25	26	27	25	⑳	27	28	29	30		23	24	㉕	26	27	28	29
28	⑳	30	31											30	⑳	31				

「不思議なアート」 10月16日[火]—12月2日[日]

1 Jun.							2 Feb.							3 Mar.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5					1	2							1	2
6	⑦	8	9	10	11	12	3	④	5	6	7	8	9	3	④	5	6	7	8	9
13	14	⑮	16	17	18	19	10	⑪	⑫	13	14	15	16	10	⑪	12	13	14	15	16
20	⑳	22	23	24	25	26	17	⑱	19	20	21	22	23	17	⑱	19	20	21	22	23
27	⑳	29	30	31			24	㉕	26	27	28			24	㉕	26	27	28	29	30
														31						

「美術の時間 現代アートにおける時間の表現」 12月4日[火]—2019年2月3日[日]
「日本の自然—富士山、日本の山、川、海—」 2月5日[火]—3月31日[日]

Calendar ○休館日 △夜間開館 □ロダン館のみ開館



ガラスの天井から光がふりそそぐロダン館。近代フランスの彫刻家オーギュスト・ロダンの作品32点のほか、ロダン以前の代表的な作家による彫刻を展示しています。本館とロダン館をつなぐブリッジ・ギャラリーとともに、西洋の近代彫刻51点を常時鑑賞できます。

Exhibition Schedule 2018.4-2019.3

開館時間 10:00—17:30(展示室への入室は17:00まで)
夜間開館 8月4日[土]、11日[土・祝]、18日[土]、25日[土] 10:00—19:00(展示室への入室は18:30まで)
休館日 毎週月曜日(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館) 年末年始、その他展示替等のための休館日

観覧料 単位/円	展覧会名	一般		70歳以上		高校・大学生	
		当日	前売・団体	当日	前売・団体	当日	前売・団体
	安野光雅のふしぎな絵本展	1,000	800	500	400	無料	無料
	幕末狩野派展	1,000	800	500	400	無料	無料
	めがねと旅する美術展	1,000	800	500	400	無料	無料
	1968年 激動の時代の芸術	1,000	800	500	400	無料	無料
	収蔵品展	300	200(団体)			無料	

団体料金は有料観覧者20名以上。企画展ご入場の方は、収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は、企画展・収蔵品展ともに無料でご覧いただけます。

実技室イベント ————— ミュージアムショップ(本館工事休館中は休み) —————
さまざまな体験プログラムを実施しています。スケジュールはホームページまたはパンフレット「実技室プログラムのしおり」をご覧ください。
無料託児サービス(本館工事休館中は休み) ————— レ스토랑&カフェ(本館工事休館中は休み) —————
毎週日曜日および祝日にご利用いただけます(10:30-15:30)。対象は、乳・幼児(6ヶ月~小学校就学前)です。喫茶、お食事が楽しめます。美術鑑賞のあいまにお立ち寄りください。
車椅子・ベビーカー ————— 友の会 —————
インフォメーションで無料貸出いたします。本館工事休館中はロダン館で貸出いたします。常時入会受付中。詳しくは事務局にお問い合わせください。Tel. 054-264-0897



お問い合わせ
〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767
学芸課 Tel. 054-263-5857 Fax. 054-263-5742
テレフォン・サービス(054-262-3737)にて展覧会情報等をお知らせしております。

表紙:石川直樹(Mt. Fuji #38)(部分) 静岡県立美術館蔵

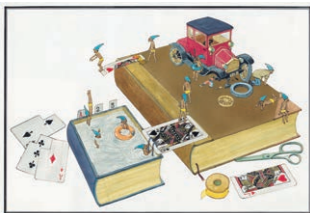
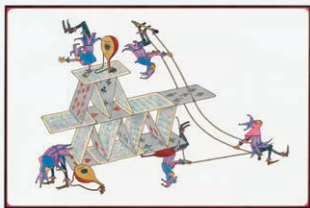


静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

安野光雅のふしぎな絵本展

7月14日[土]—9月2日[日]



画家、絵本作家、装丁家として幅広い活動を続ける安野光雅(1926年、島根県津和野町生まれ)。その多彩な活動の中から「ふしぎ」をテーマに構成する本展では、溢れんばかりの想像力と幅広い学識やユーモアに富んだ作品群を紹介。絵本デビュー作である『ふしぎなえ』をはじめ、『もりのえほん』、『ABCの本』、『天動説の絵本』、『かぞえてみよう』など、精緻な描法に遊び心や豊かな空想力があわさって生み出された、安野の絵本原画のもつふしぎな世界を楽しめます。

上:『さかさま』1969年 ©空想工房
下:『ふしぎなえ』1968年 ©空想工房
※作品はすべて津和野町立安野光雅美術館所蔵

幕末狩野派展

9月11日[火]—10月28日[日]

明治維新から150年という節目を記念し、本展では、維新前に活躍した狩野派の絵師たちの旺盛な活動をご紹介します。

400年にわたり画壇の中心で活躍した狩野派の伝統を継承しつつ、時代に合わせて新しい表現を採り入れた幕末狩野派の絵師たちが描いた作品は、典雅かつ個性的であり、現代人の心をも捉えるものです。

本展では、東西画壇で活躍した幕末狩野派に焦点を当て、その全容を明らかにし、近代日本画の開拓者・狩野芳崖、橋本雅邦へと続く彼らの活動をご紹介します。知られざる幕末狩野派の魅力をご堪能ください。



狩野永岳《富士山登龍図》1852年 静岡県立美術館蔵

企画展

めがねと旅する美術展——視覚文化の探究——

11月23日[金・祝]—2019年1月27日[日]



本展は「めがね」をキーワードとし、「みる」ことの意味を問い直す展覧会です。

現代社会は、膨大な量の画像や動画、文字やサインといった視覚情報に彩られています。私たちの生活は、「みる」という行為に圧倒的に依存しているのです。また、視覚芸術を扱う美術館は、まさに「視覚の殿堂」ともいべき存在です。

本展では、西洋由来の遠近法やレンズを用いたからくり、近代交通機関がもたらした新視覚、科学技術の発達が可能にしたマイクロ/マクロの世界の可視化といったモチーフを通じ、人々の視覚に対する探究の跡をたどります。

塚原重義(監督) 新作アニメーション
《押絵ト旅スル男》イメージイラスト

1968年 激動の時代の芸術

2019年2月10日[日]—3月24日[日]

1968年は、20世紀における歴史の転換点と呼ばれています。世界中で学生運動・社会運動が同時多発的に起こり、日本でも全共闘運動が活発化し、社会が騒然とした雰囲気になりました。美術の領域では、アングラやカウンター・カルチャーが脱領域的な拡がりを見せると同時に、「もの派」をはじめ新世代が一気に台頭した時代でした。本展では、今から50年前のこの混沌とした時代の日本の文化状況を、美術を中心に、写真、舞台、建築、漫画など周辺領域も交えて現存作品、写真、映像、グラフィックほか貴重な資料で振り返ります。



山口勝弘《サイン・ポール》
1968年 高松市美術館蔵
(出品予定)



赤瀬川原平『漫画主義』
No.1-4ポスター/QUA発行
1969年 静岡県立美術館蔵

ふじのくに芸術祭2018

11月3日[土]—11月14日[水]

収蔵品展

1.「新収蔵品展」

7月14日[土]—9月2日[日]

2.「日本画の情景—幕末から近代へ—」

9月4日[火]—10月14日[日]

3.「不思議なアート」

10月16日[火]—12月2日[日]

4.「美術の時間 現代アートにおける時間の表現」

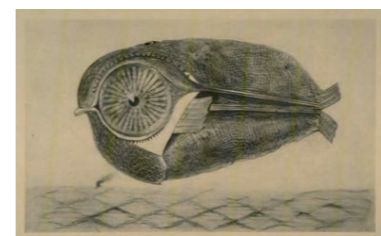
12月4日[火]—2019年2月3日[日]

5.「日本の自然—富士山、日本の山、川、海—」

2019年2月5日[火]—3月31日[日]



1 小林清親《従箱根山中富嶺眺望》



3 マックス・エルンスト《脱走者》(『博物誌』より)



2 菊池容斎《蒙古襲来図》



4 中村宏《鉄道ダイヤグラムE》



5 小糸源太郎《東海》

収蔵品展

上原美術館と静岡県立美術館の収蔵品による展覧会をご覧ください。

「美を旅する—静岡県立美術館のコレクションとともに—」

会場 上原美術館[仏教館・近代館]

静岡県下田市宇土金341

Tel. 0558-28-1228

4月14日[土]—5月20日[日]

観覧料：一般1,000円 学生500円 高校生以下無料

※団体10名以上は10%割引

共同企画展



狩野栄信《楼閣山水図屏風》1802—16年 静岡県立美術館蔵(幕末狩野派展に展示予定)



関根伸夫《位相—大地》1986年 静岡県立美術館蔵(1968年 激動の時代の芸術に展示予定)